

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：水産業費 目：水産業振興費

事業名 魚苗放流委託料

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 里川振興課 水産振興室 水産係 電話番号：058-272-1111(内2913)

E-mail：c11428@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 50,668 千円 (前年度予算額：50,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	50,000	50,000	0	0	0	0	0	0	0
要求額	50,668	0	0	0	0	0	0	0	50,668
決定額	50,000	50,000	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として行われた外出自粛や県をまたいだ移動制限、河川敷へのバリケード設置等により、令和3年度漁期も遊漁者の減少による遊漁料収入の減少が見込まれている。このため、令和4年度も各漁協が実施する義務放流量が減少する見込みとなっており、重要な漁業資源が減少してしまう状況。このため、資源量及び漁獲量の維持を図るために県が追加で主要な水産動物の放流を実施するもの。

(2) 事業内容

アユをはじめ本県において遊漁者の漁獲意欲の高い4魚種(アユ、アマゴ・ヤマメ、フナ)の放流を実施する。本事業における各魚種の放流量の配分計画は、漁業権漁場ごとの増殖義務数量に応じたものとし、資源量の変動に合わせて適宜配分を見直す。

(3) 県負担・補助率の考え方

「内水面漁業の振興に関する法律」において、種苗放流の推進や回遊性魚類（鮎を含む）の増殖の取り組みに対する支援は県の責務として位置づけられているため、当該事業は県が取り組む必要がある。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	50,668	魚苗放流委託
合計	50,668	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。
財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

○ぎふ農業・農村基本計画（R3～R7）

第5章 政策の方向性

(3) ぎふ農畜水産物のブランド展開

⑥ 鮎を守り育てる体制構築

(2) 国・他県の状況

他県では、県が委託事業として実施する場合と、漁業協同組合等への補助事業として実施する場合がある。

(3) 事業主体及びその妥当性

事業主体：県

施策である鮎王国ぎふ復活を図るうえで水産資源の増殖（種苗放流）強化は不可欠であり、県全体での取組とするためには県が取組むべき事業である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
資源量及び漁獲量の維持を図るため、アユ、アマゴ・ヤマメ、フナの放流を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 目標	終期目標 (R4)	達成率
①鮎放流量の維持	117.6t	116.4t	118.1t	118t	118t	
②鮎漁獲量の維持	213t	169t				

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 魚苗放流委託数量 委託先：岐阜県漁業協同組合連合会 アユ： 7,147 k g アマゴ・ヤマメ： 338 k g フナ： 657 k g
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 魚苗放流委託数量（見込みを含む） 委託先：岐阜県漁業協同組合連合会 アユ： 13,796 k g アマゴ・ヤマメ： 1,815 k g フナ： 211 k g
	指標① 目標：117.6t 実績：118.1t 達成率：100.4 %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価) 3	内水面漁業の低迷、組合員の高齢化など漁協の経営環境が悪化する上に、新型コロナウイルスの影響による資源量の減少を防ぐために、県自らも放流を行うことにより、漁場の生産力を有効活用する必要がある。
・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価) 3	ここ数年、災害によるものを除き漁獲量の大きな減少はなく、漁獲量の維持に貢献している。
・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価) 2	アユ冷水病対策の一環として冷水病に汚染されていないアユ種苗の放流を促すため、原則として (一財) 岐阜県魚苗センター産のものを使うことを徹底している。

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 漁獲量がピークであった平成4年当時に比べて放流数が半分程度に減少しており、漁場の生産力を活用しきれていない。このため漁獲量の回復を図るためには、放流数を増やして資源量を増加させなくてはならない。
--

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新型コロナウイルスの影響による資源量の減少を阻止するものの、資源量の増加を図るためには継続的に事業を実施することが求められる。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者 (団体)	(理由)
補助事業の概要	(目的) (内容)
補助率・補助単価等	定額・定率・その他 (例: 人件費相当額) (内容) (理由)
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 (理由)

(事業目標)

・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位: 千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none">取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none">事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none">事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none">継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
